



校訓

なかよく
つよく
しんけんに



菊池市立
泗水小学校
学校だより
第 20 号
R4.1.26
発行
校長
工藤竜一

学校教育目標

「仲良く」「強く」「真剣に」学ぶ泗水っ子の育成
「そろえる」「続ける」「チーム泗水」
オール泗水を通して

新型コロナウイルス感染対策

熊本県では「まん延防止等重点措置」が、一月二十一日(金)～二月十三日(日)まで適用されています。本校でも感染者が出ており、学級閉鎖の措置を行った学級もあります。学校では、マスク着用・給食の黙食・換気・消毒などの感染予防を徹底しています。

感染の拡大を防ぐために、次の二点を再度ご確認お願いします。
①家族に一人でも発熱などの風邪症状や倦怠感、味覚・嗅覚障がいなどの症状が出たら、児童を登校させないでください。予防のための欠席は、出席停止扱いになります。

②児童及び家族がPCR検査などを受けることになった場合は、症状がなくても学校へ必ず連絡して、登校を控えてください。
なお、学校では、感染者が出た場合は、保健所、教育委員会と連携して濃厚接触者を特定し、該当者に連絡するなどの体制をとっています。情報は、泗水小安心メールでお伝えしていますので、ご確認をお願いします。

給食週間の取組

一月二十四日(月)～二十八日(金)は、給食週間です。学校給食の意義や食に対する関心を深め、給食に対する感謝の気持ちや望ましい食習慣を育てる機会とするため、次のような取組を行っています。

- ①給食に関する放送：給食の歴史、食に関するマナークイズ、外国の給食、児童や先生の好きな給食アンケートの結果などを、給食委員が放送する。
- ②食器片づけチェック
- ③給食集会：給食センターの先生方の話を聞き、感謝の気持ちを待つ。(オンラインで実施)
- ④学級で食について指導を行い、給食センターへのお礼の手紙を書く：学校給食を支えてくださっている栄養教諭、調理員、生産者、配達される方の存在を紹介し、様々な努力や苦勞を重ね、給食を提供されていることを知り、感謝して給食を食べることに大切さを考える。

コロナ禍でも、泗水小の子どもたち・先生たちはがんばっています！



1年生も楽しく英語活動をしました！(1月24日)

道徳科で「日本のお米、世界のお米」を学習した後の給食の様子(2年2組：1月25日)

6年生3小合同学習会の様子

この目的のもと、泗水解放子とも会の活動紹介や人権をテーマとした討議などがリモートで行われました。六年生にとって、集会のことは知ったり、人権について考えたりするよい機会になりました。また、他校の六年生とともに学習会を行ったことで、中学校進学への期待も高まったのではないかと思います。

六年生三小合同学習会

一月二十一日(金)、六年生合同学習会がありました。例年、泗水東小、泗水西小の六年生と一堂に会して学習を行っています。本年度は、新型コロナウイルス感染症防止のため、リモートによる実施となりました。

この学習会の目的は、教育集会所が差別をなくすための泗水町の拠点であるという正しい認識を持つとともに、教育集会所に集う人々の思いを知り、部落問題をはじめあらゆる人権問題に対する取組を自分の課題として受け止めること、三小学校児童がなかまとしてつながり合える機会とすることです。